

佐賀市市民活動プラザ外部評価委員会議事録
平成 30 年度 第 1 回 佐賀市市民活動プラザ外部評価委員会

開催日時：平成 30 年 5 月 23 日（水）19：00～20：45

開催会場：佐賀商工ビル 7 階 共用大会議室 A

出席者：（外部評価委員）

佐賀女子短期大学 学長 田口香津子様

西九州大学 副学長 井本浩之様

NPO 法人鳳雛塾ファウンダー 横尾敏史様

とす市民活動ネットワーク 事務局長 木村利代様

まちびと会社 VisionAreal（ビジョナリアル）共同代表 おきなまさひと様
（佐賀市）

佐賀市協働推進課 市民活動推進係 係長 無津呂忠憲

佐賀市協働推進課 市民活動推進係 主事 堀梨花
（指定管理者）

佐賀市市民活動プラザ プラザ長 内川実佐子

佐賀市市民活動プラザ 副プラザ長 高見博

佐賀市市民活動プラザ 副プラザ長 高取洋介

佐賀市市民活動プラザ 秋山翔太郎

佐賀市市民活動プラザ 内藤雄輔

欠席者：なし

傍聴者：なし

開催内容：

1. あいさつ

○開会・あいさつ（無津呂係長）

2. 平成 29 年度（特に下半期）運営管理及び業務進捗報告と平成 30 年度計画報告

○配布資料

1. 平成 29 年度年間（特に下半期）の振り返り（A4）
2. 佐賀市市民活動プラザのビジョン達成のためのスキーム（A3：1 ページ）
※スキームについては、前年度お配りしたものと同一ものです。
3. 平成 29 年度年間 佐賀市市民活動プラザ業務達成状況報告（A3：3 ページ）

説明資料：

- ①平成 29 年度 目標値進捗状況（年間）
- ②平成 29 年度 内部研修及び視察等報告（年間）
- ③（1）情報収集及び提供に関する業務について-年間集計表（説明用追加資料）

- ④（２）相談支援に関する業務について（説明用追加資料）
- ⑤（４）研修及び講座に関する業務について（説明用追加資料）
- ⑥（５）交流連携に関する業務について（説明用追加資料）
- ⑦（別表１）平成 29 年度 目標値と実績状況（説明用追加資料）

4. 委員書き込みシート

○平成 29 年度 特に下半期についての振り返り運営管理及び業務進捗の報告（指定管理者）

【配布資料】1. 平成 29 年度年間（特に下半期）の振り返り（A4）

5 年度のビジョン（指定管理者である特定非営利活動法人佐賀県 CSO 推進機構代表理事の想い）について、また平成 29 年度終了後のビジョンへ近づけたかなど、基本方針である 3 つの柱、市民活動の実践者に対して「活動の場としての施設の提供」「団体や企業、行政との協働・連携の場」「事業が円滑に行われるように支援」できたかなど報告した。

○平成 29 年度 進捗状況報告、平成 30 年度の計画の進め方の報告（指定管理者各担当者）

【配布資料】3. 平成 29 年度年間 佐賀市市民活動プラザ業務達成状況報告（A3：3 ページ）

（１）情報収集および提供に関する業務（説明資料：③）

情報収集はどのような媒体で発信元はどこなのか。情報の提供については、情報の種類（情報の項目、例えば助成金、イベントなど）と提供の媒体の報告と広報誌 HONOHONO とメールマガジンの発信数などの報告をした。

（２）相談支援に関する業務（説明資料：④）

相談件数：前年度より平成 29 年度は 1.5 倍、目標数の 2.2 倍

相談内容について前年度と傾向が異なる項目などを報告した。

（３）調査および研究に関する業務

（3.平成 29 年度年間 佐賀市市民活動プラザ業務達成状況報告 A3 1/3 ページ）

市民活動団体ヒアリング（目標：50 団体）実施：35 団体

企業ヒアリング（目標：2 企業）実施：2 企業

e モニター実施で得た市民の興味対象（市民活動について：地域のイベント）など報告した。

（４）研修および講座に関する業務（説明資料：⑤）

研修及び講座の実施回数、内容、開催した結果など一覧表に基づき報告した。

（５）交流連携に関する業務（説明資料：⑥）

いどばたかいぎについて資料で開催回数、内容（テーマ）など

企業と市民活動団体の交流会、市民参加の交流会の実施について報告した。

（６）市民参加の機運醸成に関する業務

（3.平成 29 年度年間 佐賀市市民活動プラザ業務達成状況報告 A3 2/3 ページ）

市民活動団体の PR ビデオ作成及び紹介、ポスターセッション開催についての報告をした。

（別表 1）施設の運営管理について（説明資料：⑦）

来館者、利用収入等を前年度対比、目標値と実績の報告をした。

○佐賀市の市民活動プラザ担当者から自己紹介（佐賀市協働推進課市民活動推進係 堀より）

○市民活動プラザ新メンバーの紹介 高取と小柳、古川の紹介

3. 委員からの質問や意見、アドバイスなどをいただく

委員：

市民活動プラザのスタッフ全員の人数を教えてください。

指定管理者：

プラザ長 内川、副プラザ長 高見、高取、職員 秋山、内藤、小柳、古川 以上。
不定期で入力作業のために出勤している徳永、窓口担当のパート職員が 14 名程度。

委員：

プラザの困りごとで出たパソコンの問題は、鳥栖のセンターでも同じである。
利用者と事務局の PC が同じインターネット回線にあるため、当初 3 台準備していたが現在は 1 台である。持ち込みの USB メモリの利用も制限している。目的外使用は都度職員にて使用をお断りする対応をしている。また、貸出用の USB メモ리를準備しており、制限時間 1 時間で終わらなかった方のために、ファイルを一旦 USB に保存して、それをセンターでお預かりしている。(外部ネットワーク上で作成されたファイルを持ち込めないよう対処している)

指定管理者：

貸し出し用の USB はどのくらい準備されているのか。

委員：

ユーザーも理解してくれているので、現在は 1 本で十分足りている。

委員：

事業開発の相談対応をしているということだが、どのようなジャンルなのか？

指定管理者：

様々な相談を受けている。設立だけでなく、事業の段取り（計画から準備のような相談まで）の相談もあるため、肩代わりしないように注意している。
相談の延長でマッチングの精度も高くなっている。

委員：

相談支援は、その活動が個人の趣味なのか、一定の公共性があるものなのか、その本質を見極めていくことも必要である。

委員：

計画に上がっていた公民館の情報共有が実施できなかったとあるが、しなければならなかったのにできなかったのか、それともしなくても良かったものなのか。

指定管理者：

佐賀市との調整がうまくいかなかったという事が原因だった。今年度は待つのではなく、プラザが直接公民館に出向いていこうと考えている。この事業は残していこうと考えている。

委員：

地域の区長が集まる会などに出向き、相談させてもらおうと協力してもらえることがある。

委員：

最初に出たスタッフの人数で、これだけの業務を担うのは、かなり無理があるように感じる。業務の内容の見直しなどはできないのか。

委員：

簡素化できるところは簡素化したほうが良いのではないかな。

指定管理者：

この業務量になったのは平成 29 年度からのため想定できてなかったところもある。委員のアドバイスのように簡素化できるところは簡素化していきたい。今後、目標や計画をたてるときに考えていきたい。

委員：

ユーザーの声を取り入れブラッシュアップしていったほしい。がんばって成果をあげてもユーザーから求められていなければ意味がない。

指定管理者：

事業計画等における組織内のコミュニケーションの取り方でよいアドバイスがあれば教えてほしい。グループウェアの選択肢もあるが、対面し話したほうが、効率的と考える。全員が揃うことがほぼない現状である。

委員：

私はスラッグというグループウェアを利用している。プロジェクトごとに複数の系列でやりとりができる検討してはどうか。

委員：

事業全体の内容が増えたという事だが、逆に減らすことはできないのか。その減った分で自分たちがやりたいと思う自主事業を作っていってみたい。

指定管理者：

5 年計画のプロポーザルで採用されているため、（佐賀市との）協議で増やすことはできても、減らすことはできない。今年度の結果を踏まえ、部分的な変更の協議はできると思う。

委員：

プロボノ、学生ボランティアなどを利用して事業を任せるという発想もあってよいと思う。

委員：

相談支援の中で、特に印象的な相談案件を教えてください。

指定管理者：

以前相談支援をした方から紹介が拡がり、遠方からも相談者が来られるようになった。また、前々前年度支援していた公民館と複数の市民活動団体とのコーディネートが実を結び、現在実働している。

委員：

ボランティアの募集と紹介件数が均衡していますが、どれだけマッチングができているのか。

指定管理者：

ボランティア情報は大学生や、高齢者関係団体等へも積極的につないでいる。学生がさらに友達を誘って活動が拡がり、そこで知り合いになった人同士で新しいイベントが開催されている。

委員：

相談件数はどのようにカウントしているのか。

指定管理者：

関連する相談内容であれば1件でカウントしている。継続支援の場合もひとつの支援としてカウントする。

※実際の順番と異なりますが、アドバイス・次回に向けての要望等をまとめています。

委員：

人材育成事業の目標「受講者が市民活動をする上で必要な機能・役割を講座で習得・理解し団体の活動に活かす」というのを、どうやって図るのが疑問だった。こういった事業計画を立てる時に、まず「結果」ありきで計画を組み立てていき、そこから目標などの細目に落とし込んでいく手法もある。

委員：

情報収集について、どんな内容を集めたかといった細目が欲しい。

委員：

Facebookの「いいね」の数や、閲覧者数などの報告もほしい。また、Facebookの更新頻度は絶対的に少ないと感じる。毎日でも更新すべきであり、その際のターゲティングも要検討事項である。

委員：

これまでの支援で、ユーザー側のプレイヤー層、ファシリテータ層・支援層がどのような成長してきたのかが知りたい。

委員：

事業開発支援に関する今後の対策が興味深い。

委員：

件数や文字には表現できない現場の報告を次回してほしいと思う。

印象としてはすごい数の仕事をしていると感じた。

委員：

指定管理者のふりかえりで、「満足度が低くても、本当に必要な講座は続けていく予定である」という意思を聞き安心した。数字だけで評価するのではなく、今必要な内容を考え、数字に躍らされずに運営できていると感心した。

4 閉会